

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-759
研究課題名 慢性腎臓病における(プロ)レニンレセプター [(P)RR] 発現の検討
研究期間 西暦 2015 年 3月 (倫理委員会承認後) ～ 2020 年 3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名 ) <input checked="" type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名 腎臓 ) <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (尿、検査結果、治療内容の診療情報)
上記材料の採取期間 西暦 2011 年 12月～2015 年 1月
意義、目的 近年、レニン・アンジオテンシン系(RAS)が免疫反応の増強に関与することが明らかとなつています。(プロ)レニン受容体 [(P)RR] はこのシステムにおいて新しく発見された物質で、レニン・プロレニンと特異的に結合します。多彩な機能を有し生命維持や組織障害に深く関与していることが最近明らかになってきました。私達はこれまでに健康な方の血液から得られたリンパ球や単球といった免疫担当細胞に (P)RR が発現することを明らかにしました。加えて(P)RR がそれらの細胞において、炎症反応に関与していることも明らかにし、医学論文として発表しました(Narumi et al. Am J Physiol-Renal Physiol. in press)。 慢性腎臓病の患者では、慢性的に炎症活性化状態にあり、炎症と慢性腎臓病の関連性について更に検討が必要です。この研究では慢性腎臓病患者さんの血液、尿、腎臓の生検組織において(P)RR 及び他の炎症に関連する物質がどう発現しているかを検討します。それによって腎臓の障害における様々な、新たな病態が解明できる可能性があります。
方法 対象となる患者様は 2011 年 12月から 2015 年 1月までに東北大学病院腎・高血圧・内分泌科に入院し、腎生検を行った方です。年齢、性別、治療目的となった疾病などの基本情報と、検査結果を診療録から抽出します。本研究では血液、尿にて (P)RR、他のバイオマーカー・サイトカインの発現様式について測定し、腎生検検体では組織染色を行って顕微鏡で調べます。 それらの結果は、誰のものかわからないように匿名化してから、集計したり分析をします。対象となる患者様には新たな負担や危険は発生しません。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院 腎高血圧内分泌科 宮崎真理子 980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話：022-717-7163、Fax 022-717-7169